



*Cinderella*  
Tetsuya Kumakawa K-ballet Company

熊川哲也 Kバレエカンパニー Spring 2013「シンデレラ」

Bunkamura オーチャードホール

日程	3/6(水)	3/7(木)	3/7(木)	3/8(金)	3/8(金)	3/9(土)	3/9(土)	3/10(日)
開場/開演	14:30/15:00	13:30/14:00	18:00/18:30	13:30/14:00	18:00/18:30	12:30/13:00	17:00/17:30	13:30/14:00
シンデレラ	松岡梨絵	荒井祐子	松岡梨絵	佐々部佳代	神戸里奈	荒井祐子	神戸里奈	松岡梨絵
王子	宮尾俊太郎	遅沢佑介	宮尾俊太郎	橋本直樹	秋元康臣	遅沢佑介	秋元康臣	宮尾俊太郎

S席¥13,000 A席¥10,000 B席¥8,000  
C席¥6,000(税込)  
指揮:井田勝大  
演奏:シアターオーケストラトキョー

【お問い合わせ】 Bunkamura 03-3477-3244 (10:00~19:00) チケットスペース 03-3234-9999

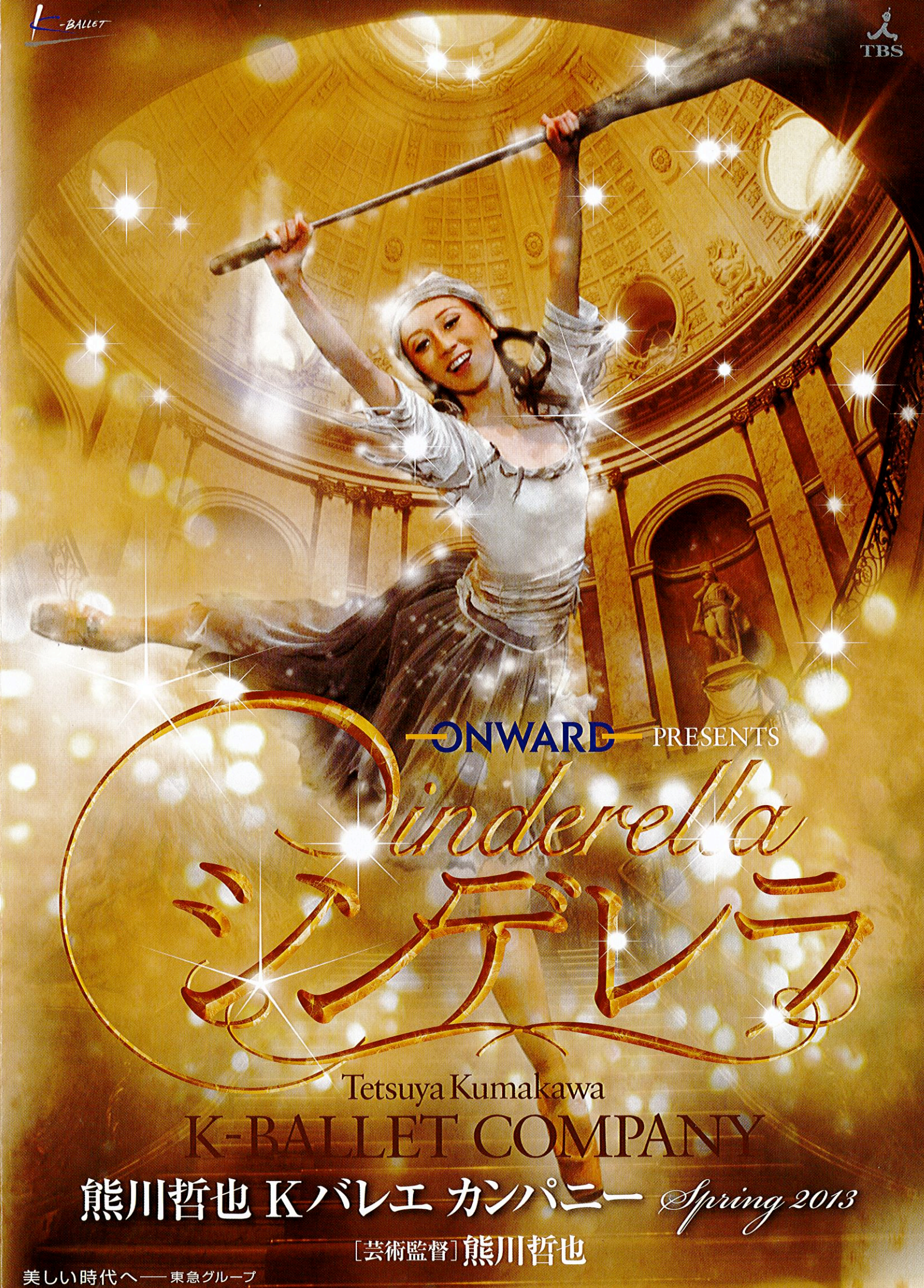
【公演に関する詳細】 <http://k-ballet.co.jp/>

【チケット取扱】 チケットスペース 03-3234-9999 (オペレーター対応)  チケットスペースオンライン  検索  
TBSオンラインチケット <http://www.tbs.co.jp/kumakawa/>  
Bunkamura チケットセンター 03-3477-9912 (発売初日特電 10:00~17:30)  
03-3477-9999 (11/12以降 10:00~17:30) 店頭受付 (10:00~19:00)  
Bunkamura オンラインチケット <http://www.bunkamura.co.jp/online/> ※事前登録が必要(PC&携帯)  
チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答予約・Pコード:424-310) <http://pia.jp/t/k-ballet/> (PC&携帯)  
ローソンチケット 0570-084-003 (音声自動予約・Lコード:39293) 0570-000-407 (オペレーター対応)  
<http://l-tike.com/k-ballet/> (PC&携帯)  
イープラス <http://eplus.jp/kumakawa/> (PC&携帯)  
※0570で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHS・IP電話からはお使いいただけません。

主催:TBS/Bunkamura  
特別協賛:ONWARD 株式会社オンワードホールディングス  
協賛:Chacott チョコット株式会社 オフィシャルエアライン:ANA  
制作:K-BALLET COMPANY/TBS/Bunkamura

◎キャストは2012年10月1日現在です。出演者の病気や怪我等、やむを得ない事情で変更となる場合があります。最新キャストは <http://www.k-ballet.co.jp/company/>にてご確認下さい。◎公演中止の場合を除き、全ての公演に関して主演者をはじめとするキャスト変更に伴うチケット代金の払い戻し、公演日や券種の変更はお受けできません。旅費、チケット送料の補償は致しかねます。◎本公演は5歳以上の入場が可能です。但し1人1枚チケットが必要です。◎演出上開演後の入場は制限させていただきます場合があります。

Photographs by Hidemi Seto/Jin Kimoto/Shunki Ogawa/Ayumu Gambi



ONWARD PRESENTS

*Cinderella*  
シンデレラ

Tetsuya Kumakawa  
K-BALLET COMPANY

熊川哲也 Kバレエカンパニー Spring 2013

【芸術監督】熊川哲也

美しい時代へ — 東急グループ

# 世界初演で2万人の感動を呼んだ至高のファンタジー、熊川版「シンデレラ」ふたたび!

2012年2月、熊川哲也のBunkamura オーチャードホール 芸術監督就任記念として世界初演を果たした至高のファンタジー超大作、それが「シンデレラ」。

全公演ソールド・アウトを記録したこの話題の舞台は、総合芸術としてのバレエへの飽くなき追求を重ねてきた現代屈指の演出家・熊川の卓抜した感性と才知に貫かれた、まさに集大成と呼ぶべき名版。劇場をこの上ない驚きと感動の渦に巻き込んだ。観客を瞬く間に夢物語の世界へと導く神秘あふれる空間、よく知るはずのストーリーに豊潤な魅力を与えるキャラクター造形、そこにさらなる色を添える熊川流の上質なユーモア。そして世界最高峰のダンサーならではの視点が生きた鮮やかな舞踊と寄せ来る波のように見る者の心をわし掴みにしてゆく、あまりにも美しい魔法の数々——

Kバレエカンパニーが誇る、今最も輝けるダンサーたちの競演も見逃せない!



Production / Choreography: Tetsuya Kumakawa  
 演出・振付: 熊川哲也  
 Music: Sergei Prokofiev  
 音楽: セルゲイ・プロコフィエフ  
 Costume Design: Yolanda Sonnabend  
 衣装デザイン: ヨランダ・ソナベンド  
 Set Design: Leslie Travers  
 舞台美術デザイン: レズリー・トラヴァース  
 Lighting Design: Hisashi Adachi  
 照明: 足立恒

あなたはいつ「シンデレラ」と出逢った?—  
 こう尋ねられて即答できる人は案外少ないのではないだろうか。絵本だったり、さまざまなバージョンのバレエ舞台だったり、ディズニーのアニメーション映画だったり。中には「小学校の学芸会で意地悪なお義姉さんを演じたよ」とか「地元のバレエ教室の発表会で主役を踊ったわ」と胸を張る方もいるかもしれないが、面白いのはその時初めてストーリーを知ったわけではないだろうな、いつの間にか私たち皆の心に「シンデレラ」の物語が棲みついていたほど特別なファンタジーなんだな、ということだ。

そうした世界に星の数ほどある「シンデレラ」の中で、熊川哲也 演出・振付のKバレエ版が傑出しているのは、ズバリ、とことんファンタジックな描写にこだわったから。と言っても、元来「灰かぶり」を意味するシンデレラ、つまり意地悪な

継母や義姉たちによってこき使われているシンデレラが、最初から「嘘だ」と突っ込みたくなるようなお姫様風ドレスで掃除をしているのはもちろんない。そこはちゃんと説得力がある召使い風衣裳を身につけながらも、その一方で隠しようもない心の清らかさを表現する踊りを見せる。言わば宝石におけるまだ磨かれていない原石の輝きを、振付に込めた熊川の手腕の見事さ。だからこそ、そんなシンデレラが、継母たちが冷たくあしらったのに、自分だけは優しくした物乞いの老女の手によって美しいプリンセスに大変身し、かぼちゃの馬車に乗って王子の待っているお城の舞踏会へと向かうくだりは、びっくりの連続と言っていい。何しろまず老女自身が美しい仙女に変身し、バラやキャンドル、トランプ、ティーカップが各々妖精になって踊り出し、さっきまでの灰色に覆われていた日

常が夢のような世界になってしまうのだから。この究極のファンタジーには、英国を代表するデザイナー、ヨランダ・ソナベンドの衣裳デザイン、レズリー・トラヴァースの舞台美術デザインが大きく貢献していると言っていいたいだろう。舞踏会を彩る華やかなドレスの数々はもちろんのこと、城のエントランスへと続く階段や柱、壁の質感は「シンデレラ」の物語が幼少時からより身近にあった文化で育った人間だからこそクリエイトできたものだし、そんな異才たちとコラボレートした熊川が、「女の子はやはり皆プリンセスになりたいんじゃないかな」と、このファンタジーの核心を突いた演出を見せる。「頑張っている人間は報われてほしい」という熊川の思いこそ、この作品を唯一無二のスペシャルなものにしたのである!

(文: 佐藤友紀 ジャーナリスト)



3/6(水)・7(木)夜・10(日)      3/7(木)昼・9(土)昼      3/8(金)昼      3/8(金)夜・9(土)夜

